

迎春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。新しい年が始まりました。

今年の干支は丙午（ひのえうま）。

情熱をもつて、覚悟を決めて行動する一年にします。

『今に応え、前に進む』

年末年始には、消防団の夜警を巡回させていただいたほか、神社やお寺への参拝などを通じて、多くの皆さまと直接お会いし、様々なお声を伺う機会をいただきました。その中で特に多く聞かれたのは、物価高や将来への不安といった、日々の暮らしに直結する切実な声でした。また、国際情勢の変化、とりわけ台湾海峡周辺をめぐる中国の動きなど、日本の安全保障を心配する声も少なくありませんでした。

日本は大きな転換点にあります。国内では、物価上昇や賃金の伸び悩み、少子高齢化による社会保障が限界に近づいています。一方で国際的には、安全保障環境の悪化や、経済・技術をめぐる競争の激化など、日本の進むべき方向そのものが厳しく問われています。日本はいま、明確な選択を迫られていくのか、それとも新たな挑戦と決断によって未来を切り拓いています。

現状にどまり課題を先送りしないで、しっかりと未来を切り拓いています。

『今に応え、前に進む』

年末年始には、消防団の夜警を巡回させていたいたほか、神社やお寺への参拝などを通じて、多くの皆さまと直接お会いし、様々なお声を伺う機会をいただきました。その中で特に多く聞かれたのは、物価高や将来への不安といった、日々の暮らしに直結する切実な声でした。また、国際情勢の変化、とりわけ台湾海峡周辺をめぐる中国の動きなど、日本の安全保障を心配する声も少なくありませんでした。

日本は大きな転換点にあります。国内では、物価上昇や賃金の伸び悩み、少子高齢化による社会保障が限界に近づいています。一方で国際的には、安全保障環境の悪化や、経済・技術をめぐる競争の激化など、日本の進むべき方向そのものが厳しく問われています。日本はいま、明確な選択を迫られていくのか、それとも新たな挑戦と決断によって未来を切り拓いています。

迎春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。新しい年が始まりました。

今年の干支は丙午（ひのえうま）。

情熱をもつて、覚悟を決めて行動する一年にします。

『今に応え、前に進む』

年末年始には、消防団の夜警を巡回させていたいたほか、神社やお寺への参拝などを通じて、多くの皆さまと直接お会いし、様々なお声を伺う機会をいただきました。その中で特に多く聞かれたのは、物価高や将来への不安といった、日々の暮らしに直結する切実な声でした。また、国際情勢の変化、とりわけ台湾海峡周辺をめぐる中国の動きなど、日本の安全保障を心配する声も少なくありませんでした。

日本は大きな転換点にあります。国内では、物価上昇や賃金の伸び悩み、少子高齢化による社会保障が限界に近づいています。一方で国際的には、安全保障環境の悪化や、経済・技術をめぐる競争の激化など、日本の進むべき方向そのものが厳しく問われています。日本はいま、明確な選択を迫られていくのか、それとも新たな挑戦と決断によって未来を切り拓いています。

今に応え、未来へ進む

いくのか。私は、今に応えると同時に、将来につながる「前に進む実感」を積み重ねていくことが大切だと考えています。

『令和8年度予算案』

昨年末には、令和8年度当初予算案が閣議決定されました。賃上げや物価高対策、科学技術への投

資、地方創生、防災・国土強靭化など、日本が進むべき方向性が示されています。重要なのは、こうした政策を、暮らしの中で「変わった」と実感していただける形につなげていくことです。

『日本を再び世界一の国へ』

私がこれまで一貫して大切にしてきたのは、日本が世界で戦える分野に、しっかりと力を注ぐことです。自動車、GXやDX、先端・基礎研究、農業、スポーツや文化芸術、アニメ・漫画などのコンテンツ産業など、日本には確かに強みがあります。挑戦によって成長を生み、その成果を社会全体に広げていく前向きな政治が、いいまこそ求められていると感じています。

『毎日が勝負の年』

現在は落選中の立場ではありますが、活動を続ける中で、応援してくれる声や支援の輪が着実に広がっていることを実感しています。また、各地域で後援会を立ち上げてくださる声や支援の輪が着実に広がっています。また、各地域で後援会を立ち上げてください。心から感謝申し上げます。

「この人にもう一度仕事を任せたい」と思つていただけるよう、日々の活動に真摯に取り組んでいます。必ず訪れる審判の日に、「この人にもう一度仕事を任せたい」と思つていただけるよう、日々の活動に真摯に取り組んでいます。

2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年内に日本初の実証プラントの稼動を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。

『やまもと・さこん』

愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーリングキャリアスタート。19歳、单身渡欧。24歳、当時日本人最小少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。

山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook



前衆議院議員 山本左近

活動報告

令和八年（丙午）がスタート



元旦は神社や街頭活動から新年をスタートしました



今年は丙午（ひのえうま）情熱的に、行動力の一年に！



年末の豊橋魚市場にて物価高の状況や課題など聞く



年末は恒例の餅つき各所でたくさんつきました



豊橋、田原の消防団の夜警に激励担い手や負担の集中など課題を聞く

年末の動き→自動車税・環境性能割を廃止決定

①環境性能割を廃止

「取得時」の負担については、消費税率が10%であることに加え、環境性能割が上乗せされる構造となっていました。今回の決定で2026年3月31日をもって廃止。

自動車購入は家計における最大の支出の一つであり、このハードルを下げるることは、自動車業界だけでなく保険、ローン、観光など幅広い関連産業への波及効果が見込めます。複雑な制度を廃止することは徴税コストの削減や行政手続きのDX推進にも寄与します。

②エコカー減税（重量税）の延長と厳格化

2026年5月以降も2年間延長
減税対象となる燃費基準がこれまでより厳しく設定される予定。

③EV（電気自動車）への課税強化（2028年～）

EVのバッテリーにより車重が増え、道路損傷負荷が大きいため、2028年（令和10年）5月以降、EV・PHEVに対し車両重量に応じた追加課税を導入する方針を検討。

クルマの税金、こう変わる！2026年度自動車税制改正のポイント



山本左近 豊橋事務所

〒440-0806 愛知県豊橋市八町通1丁目14-1 TEL. 0532-21-7008 FAX. 0532-21-7003 info@sakonyamamoto.com

是非あなたのお力を貸してください

山本左近の政治活動を支えるサポーターを募集しています。地元・豊橋田原の未来を共につくる仲間として、ぜひあなたのお力を貸してください。また、ポスターを屋内外に掲示いただける方がいらっしゃいましたら、事務所までご連絡ください。

討議資料